

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月7日		記入者	瀧田 進	連絡先	754-3604
平成18年度部名	生涯学習部		課名	市立図書館	課長名	小林清志
平成19年度部名	生涯学習部		課名	市立図書館	課長名	小林 茂
事務事業名	施設維持管理事業					
予算上の事務事業名	施設維持管理費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15130		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります					
基本施策名	第1節 生涯学習の推進					
施策名	第3施策 生涯学習関連施設の整備					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
図書館法、相模原市図書館条例・同条例施行規則						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	維持・管理・補修			5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）				(2) 対象（誰、何）		
生涯学習社会の実現に向けて、市民の様々な学習活動を支援するための図書館として、安心、快適にサービスを提供できるよう施設、設備の充実に努め、市民の利用に供している。				市民（在勤・在学者、広域利用協定締結をしている市町の住民を含む）		
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
市立図書館及び相武台分館の施設維持管理のための光熱水費、燃料及び管理運営の委託費等の経費で、相模原市環境マネジメントシステムに基づき省資源、省エネルギー、廃棄物の削減に努める。						
電気使用料 18年度見込み531,960kW（対前年 99.8%）						
入館者数						
15年度 879,066人						
16年度 838,606人						
17年度 781,738人						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	43,702	43,311	44,021	46,337	46,337	
一般財源	43,397	43,012	43,521	46,284	46,284	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	305	299	500	53	53	
人件費の合計	8,070	8,050	8,050	8,050	8,050	
事業コスト合計	51,772	51,361	52,071	54,387	54,387	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 （主たる事業名）	効率的な施設維持管理（光熱水費） 市立図書館の電気料			対象名称 と単位	1日あたりの光熱水費 （円）	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト（主たる事業）	10,140	9,867	9,897	10,800	10,800	
対 象 数	291	291	291	287	287	
単位あたり経費（円）	34,845	33,907	34,010	37,631	37,631	
前 年 度 比		0.97	1.00	1.11	1.00	
10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの						

指標名と単位	図書館入館者数	指標式と指標の説明	年間入館者		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	838,606.0	781,741.0	751,894.0		
目標	879,000.0	838,606.0	781,741.0	751,000.0	751,000.0
目標達成度(%)	95.4	93.2	96.2		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	入館者に対する光熱水費(円)	指標式と指標の説明	当年光熱水費/当年度入館者数×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	12.1	12.6	13.2		
目標	100.0	12.1	12.6	13.2	13.2
目標達成度(%)	12.1	104.1	104.8		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価(今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		築後30年以上を経過し、施設、設備の老朽化が進む図書館においては、効率的な維持管理が大変難しい。1日あたり2500人~3000人の来館者のある施設として、現状維持とした。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1.5 課題として認識されたこと		
図書館利用時間外は徹底した省エネを引き続き行い、開館中は利用しやすい環境整備に努める。			さらに省エネを進めるためには、古く、不具合のある冷暖房機などの設備類の更新も検討すべき時期になっている。		
(1) 局内評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			